

# 令和6年度介護保険保険者努力支援交付金評価指標（市町村分）

	体制・取組指標群(プロセス指標)	活動指標群(中間アウトカム・アウトプット指標)	成果指標群(アウトカム指標)
介護保険保険者努力支援交付金	目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する		最終的な政策目標：高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む
	1 介護予防・生活支援サービス・一般介護予防事業の実施に当たって、データを活用して課題の把握を行っているか。 ⇒ 介護予防事業におけるデータの活用状況を評価	1 高齢者人口当たりの地域包括支援センターの職員配置状況に配置される3職種の数	1 短期的な要介護認定者の平均要介護度(1・2)の変化率の状況はどのようになっているか。
	2 通いの場やボランティア活動その他の介護予防に資する取組の推進を図るため、アウトリーチ等の取組を実施しているか。 ⇒ 介護予防事業におけるアウトリーチ等の取組状況を評価	2 地域包括支援センター事業評価の達成状況	
	3 介護予防等と保健事業を一体的に実施しているか。 ⇒ 介護予防事業と保健事業との連携状況を評価	3 地域ケア会議における個別事例の検討割合(個別事例の検討件数/受給者数)	
	4 通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、介護予防・生活支援サービス・一般介護予防事業の内容等の検討を行っているか。 ⇒ 通いの場参加者の健康状態の把握・分析等の取組状況を評価	4 通いの場への65歳以上高齢者の参加率	
	5 地域におけるリハビリテーションの推進に向けた具体的な取組を行っているか。 ⇒ 地域リハビリテーションの推進に向けた取組状況を評価	5 高齢者のポイント事業への参加率	
	6 生活支援コーディネーターの活動等により、地域のニーズを踏まえた介護予防・生活支援の体制が確保されているか。 ⇒ 生活支援コーディネーター等によるサービス確保に向けた取組状況を評価	6 通いの場等において心身・認知機能を維持・改善した者の割合	
	7 多様なサービスの活用の推進に向け、実施状況の調査・分析・評価を行っているか。 ⇒ 多様なサービスの活用の推進に向けた取組状況を評価	7 高齢者人口当たりの生活支援コーディネーター数	
	目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する	8 生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加割合	2 長期的な要介護認定者の平均要介護度(1・2)の変化率の状況はどのようになっているか。
	1 認知症初期集中支援チームが定期的に情報連携する体制を構築し、必要な活動が行えているか。 ⇒ 認知症初期集中支援チームの活動に係る関係者との情報連携の取組状況を評価	9 総合事業における多様なサービスの実施状況	3 短期的な要介護認定者の平均要介護度(3～5)の変化率の状況はどのようになっているか。
2 認知症状のある人に対して、専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げるための体制を構築しているか。 ⇒ 医療との連携による早期診断・早期対応の取組状況を評価		4 長期的な要介護認定者の平均要介護度(3～5)の変化率の状況はどのようになっているか。	
3 認知症サポーター等を活用した地域支援体制の構築及び社会参加支援が行えているか。 ⇒ 認知症サポーター等による支援体制等を評価	1 高齢者人口当たりの認知症サポーター数		
目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する	2 高齢者人口当たりの認知症サポーターステップアップ講座修了者数		
1 地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータ等に基づき、在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか。 ⇒ 在宅医療・介護連携に当たってのデータの活用状況を評価	3 認知症地域支援推進員が行っている業務の状況	5 要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのようになっているか。	
2 在宅医療と介護の連携の強化・推進に向け、相談支援、研修会の開催といった具体的な取組を行っているか。 ⇒ 在宅医療・介護連携の推進に向けた取組状況を評価	1 入退院支援の実施状況		
3 患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が実施できるよう、具体的な取組を行っているか。 ⇒ 医療・介護関係者間の情報共有の取組状況を評価	2 人生の最終段階における支援の実施状況		